

自社農園でこころを育む保育園 (株式会社アンジェリカ)

<法人の概要> 所在地：東京都目黒区

設立：平成 16 年 11 月

資本金：6,500 万円 売上高：100,000 万円 (平成 24 年)
(うち農業及び農業関連事業：0 万円)

役員：5 名 (うち農作業従事 0 名。但し業務を執行する役員のうち農業従事 1 名)

従業員数：常時雇用者 160 名 (うち農業従事者 1 名)

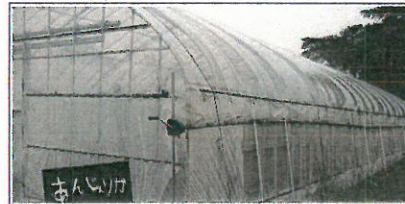
臨時雇用者 40 名 (うち農業従事者 2 名)

経営面積：2.2ha 営農作物：保育園給食用野菜全般 (じゃがいも、さつまいも、小松菜、人参等)

農業開始時期：平成 22 年 4 月



事務所 外観



園児が書いた農園の看板とハウス

<農業参入に至った経緯・動機>

・当社は、「こころの育み」を教育目標として東京都内で現在 11 園を経営する保育園である。

・当社の教育目標を達成するため、「食」というものが生産・配達・調理を行う様々な人の努力で成り立っていること (食の連続性) を、自社農園で採れた野菜を給食に取り入れること等により、目に見える形で子どもに理解させ、農業を通じて豊かな人間性を育むこと (農業を通じた教育=農育) を目標に農業に参入した。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

・農地については、当社社長の出身県であり土地勤もある埼玉県にまず農業参入したい旨を相談したところ、県を通じて日高市から遊休農地の紹介を受け、県公社を紹介して借り受けることができた。

・東北から来てもらった経験豊富な農業者を農場長として雇用し、作物の決定を一任した。

・設備については、パイプハウスや中古のトラクターを自己資金のみで導入した。

・苦労した点としては、農場長は埼玉県にきたばかりであったため、日高市のことは何も分からず、知り合いもない中で一から試行錯誤しながら営農を開始することになったことである。

<営農開始から現在まで>

・収穫した野菜については、基本的に全て自社保育園の給食用に使用している。農園から保育園に週 3 回行っている食材配達のうち 1 回は、農場長が自ら行い、子ども達にその場で見せて食材の説明を行っている。

・受けた支援としては、日高市から継続的に農地の紹介を受けているほか、県川越農林振興センターから農業技術に関わる相談や各種セミナー等の情報をいただいている。

・苦労した点としては、周辺は非農家が多い地域であったため、農業者等と接点がとれず、営農上必要な情報が入手しにくかったことである。

・農育の取組の一つとして、保護者と子どもによるバケツ稲栽培、案山子立て、稲刈り、足踏み脱穀、もみすり、餅つき体験を行っている他、1泊2日のお泊まり保育や月 1 回の保育園職員による農作業体験を行っており、いずれも好評である。

<今後の農業経営の展開方向>

・現在、当社は農業部門を独立させて別法人 (農業生産法人) になるために準備中であり、経営規模については 5 年以内に現在の農地面積の倍程度の 5ha 以上にしたいと考えている。

・別法人に移行後は、農業部門を観光向けの農園と給食用の農業生産の 2 つの柱として事業展開したい。また、自社で培った「農育」のプログラムを他の保育園へ販売することにより社会に貢献したいと考えている。

・加工や新たな販路開拓等の取組としては、ブルーベリーやいちごのジャム等の特産品を作り、保護者限定販売の商品としたい。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

・参入に際しては、農地があればどこでも良いわけではなく、アクセスや接道、施設の強度など何かあった時に備えて準備した方が良いです。また、近隣との相互扶助に努める事も重要です。



畑



パイプハウスと機械